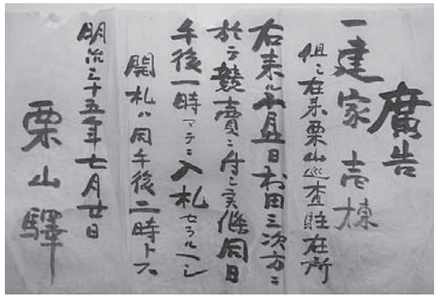
No.30 こんにちは！町史編さん室です

新発見、明治期の一次史料！

史料は、歴史の研究や調査を行う上で有効性・信頼性を見極める大切なものです。そのため、形式的に一次史料・二次史料等に分けて捉えられており、当時の生の資料・同時代の史料のことを「一次史料」、一次史料などによって後から作成されたものを「二次史料」と呼びます。

町史編さんを続けていると、たくさんの方から史料提供を受けます。今回はその中で発見した、明治期の栗山生活文化が分かる一次史料を紹介したいと思います。明治35年当時、栗山駅停車場前で駄菓子屋や飲食店を手広く営んでいた山崎俊吉さんの遺族からお預かりした、興味深い筆書きの史料です。



この史料は、116年前の貴重な情報となっています。ここから、入札・開札の仕組みが現在と同じであることなどが分かります。また、広告の文中に登場する村田三次は、栗山の開拓者として入植し、後の村長となる人物です。しかし、この史料のみでは謎な部分があります。その謎が今後発見される史料から謎解きできると考えると、ワクワクします。

一次史料は、歴史的に新たな情報を提供するものです。歴史学者や郷土史家が新たな一次史料を探すことに熱心なのは、「二次史料」のみを使用するだけでは、オリジナルな発見や研究とは認められがたいからです。

私も多くの史料に関わっている一人として、この史料から、新たな一次史料へのつながりが予感され、胸を膨らませながら町史の執筆を続けています。（高倉）

【問い合わせ】
町史編さん室　☎㊻7820

No.30 新しい力で栗山を元気に！地域おこし協力隊です

商店街にカフェバルがオープン

こんにちは！地域おこし協力隊の石井です。

11月16日に駅前通り商店街の昭和堂時計店跡地に「cafe&bar（カフェバル）くりとくら」をオープンしました!!オープン日は佐々木町長をはじめ商店街の方々やお世話になった方を招いてオープニングイベントを開催し、その後一般オープンとなり、初日からたくさんの方にお越しいただき大盛況となりました。応援してくださった全ての皆さんに感謝しています。ありがとうございます。

栗山町にはおいしい食材がたくさんあります。私たちは栗山町や周辺市町村の食材を積極的に利用し、町外から来た方には栗山町にこんなおいしい特産品があったんだ！と知ってもらい、町内の方にはおいしさの再発見をしていただけるかなと思っています。

ありがたいことにオープン前後からメディアの取材も多数受けており、このような機会を通して栗山町の魅力を発信していこうと思います。お店はオープンしてまだ間もなく、メニュー数も少ないですし、オーダーでお待たせしてしまうことも多々あるかと思いますが、どうかお気軽にご利用していただけると嬉しいです。cafe&bar くりとくらをよろしくお願いします。

オープニングセレモニーであいさつ

入口前から見た店内の様子

JR室蘭線を利用して出かけよう！ No.9

JR 室蘭線（沼ノ端～岩見沢間）を地域住民の足として守り、公共交通機関としての利便性および持続可能性の向上を目指し、鉄路を中心に周辺の地域振興を目的として、JR 室蘭線活性化連絡協議会が 11 月 8 日に発足しました。

この協議会には、沿線の 2 市 3 町（苫小牧市、安平町、岩見沢市、由仁町、栗山町）が参加し、国や北海道、JR 北海道などの関係団体や、他の線区の協議会などと連携しながら、利用促進につながる方法や、コストを抑える方法など、みんなで知恵を出し合い、室蘭線の維持存続に向けて活動をしてまいります。

【問い合わせ】
町経営企画課地域政策グループ　☎ 73-7502

JR 室蘭線活性化連絡協議会が発足！

JR北海道　平成29年度線区別収支状況

JR北海道が、平成29年度の線区別収支と利用状況を公表しました。

平成28年8月の台風災害により、長い間不通となっていた石勝線が復旧したことなどから、南千歳～帯広間や札幌周辺での収支の改善が見られましたが、鉄道事業全体では、551億円余りの赤字となっており、前年度より約25億円悪化しています。

室蘭線（沼ノ端～岩見沢間）は、営業収益が1億2300万円、営業費用が13億5700万円で、収益から費用を差し引きした営業損益は、12億3300万円の赤字で、前年度からわずかに改善したものの、大変厳しい状況が続いています。

JR 北海道　単独維持困難線区の収支状況（平成 29 年度）

線名	区間	収支（単位：百万円）			輸送密度（人）※
		収益	費用	損益	
札沼線	医療大学～新十津川	15	329	▲314	57
根室線	富良野～新得	31	735	▲705	92
留萌線	深川～留萌	39	772	▲732	157
宗谷線	名寄～稚内	436	3,169	▲2,733	352
根室線・	釧路～根室	163	1,272	▲1,110	264
	滝川～富良野	138	1,408	▲1,270	428
室蘭線	沼ノ端～岩見沢	123	1,357	▲1,233	439
釧網線	東釧路～網走	286	1,783	▲1,497	374
日高線	苫小牧～鵡川	27	453	▲426	449
石北線	新旭川～上川	317	1,299	▲982	1,188
	上川～網走	996	4,258	▲3,261	821
富良野線	富良野～旭川	401	1,399	▲998	1,597
石勝線	新夕張～夕張	10	218	▲207	69
日高線・	鵡川～様似	57	817	▲760	119

※輸送密度は、1 キロ当たりの 1 日平均輸送人員を表します。
※運休中の根室線（富良野～新得）と日高線（鵡川～様似）は、代行バスによる数値です。

皆さんのご協力に感謝

こんにちは。一般社団法人栗山青年会議所理事長の小針一人です。本年は「拓け和を以て」のスローガンのもと、青年会議所活動を行ってまいりました。

まずは、この地域の宝である子どもたちに夕張川を通して自然の大切さや故郷への帰属意識を伝えるために、夕張川関連事業の開催や夕張川自然再生協議会様と協働し、サケの稚魚放流会を行いました。

そして、栗山町はもとより、長沼町・南幌町・由仁町の子どもたちにもお声かけさせていただき、世代を超えたつながりにより、感謝の心や他を思いやる心を育み、さらに、この地域の魅力であるふるさと田舎まつり２０１８とくりやま夏祭りを栗山商工会議所青年部様と協働で事業をさせていただきました。

また、長沼町で開催したスポーツ事業ではプロバレーボールチームのヴォレアス北海道をお呼びし、スポーツの持つ力で南々空知４町住民の夢と希望を軸とした一体感の醸成を図り、地域間連携に対する意識変革を目指しました。

そして、先般開催させていただきました南々空知ＤＭＯフォーラムでは１市４町の持続的発展に向けて、民間・行政の枠を超えた連携に関する理解を深め、地域観光振興を主軸としてこの地域が連携し、広域情報を発信するための機会を設けさせていただき、この町の輝ける未来の一助となるよう青年会議所運動を進めてまいりました。最後になりますが、本年開催いたしました青年会議所の事業にご参加、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

栗山青年会議所ホームページ
WEBまおい はこちら
https://www.kuriyama-jc.jp/

マチを好きになるアプリ

マチイロ

広報くりやまを配信しています

町は、「マチイロ」による広報くりやまの配信をしています。普段、忙しくて広報紙をなかなか開けない方も、気軽に広報くりやまをご覧いただけますので、ぜひご活用ください。利用規約、プライバシーポリシーなど詳しくは、株式会社ホープ（☎092-716-0914）のホームページ（http://www.zaigenkakuho.com/platform）をご覧ください。

ダウンロードはこちらから
App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

※「マチイロ」アプリの利用は無料ですが、通信費は各回線ごとの負担になります。
※広告が表示されますが、その内容に、栗山町は一切責任を負いません。

まちの駅 栗夢プラザ KURIMU PLAZA

１２月のイベント

【問い合わせ】
まちの駅 「栗夢プラザ」
☎ 73-5515　Fax 73-5535
開館時間 10：00 ～ 17：00

年末年始のお休み

【期　間】 12 月 31 日㈪～ 1 月 3 日㈭

ポケットクラブ「パッチワーク展」

ベッドカバーから小物まで 200 点以上のパッチワーク作品を展示しています。

【期　間】 12 月 11 日㈫まで

大好評！手打ちそばの日（毎週金曜日）

【日　程】 12 月 7 日・14 日・21 日・28 日
※ 30 食限定で無くなり次第終了となります。

ホール・会議室ご利用のご案内

サークルや各種団体など、商品の展示会などご利用をお待ちしております。まずはお気軽にご相談ください。

募集中

町民参加の機会を広げるため、各種審議会・委員会などを公募しています

北海道栗山高等学校の魅力づくり委員会委員の公募

栗山高等学校の将来のあり方や魅力ある学校づくり（特色ある教育課程や地域の教育資源などとの効果的な連携など）を検討するため、次のとおり委員を募集します。

【公募人数】 3 人（総委員数 20 人以内）
【任　　期】 委嘱のあった日から平成 32 年 3 月 31 日まで（2 年間）
【会議など】 年 5 回程度、ただし、今年度は 2 回程度を予定（平日の夜に 2 時間程度）
※この会議は、原則公開です。また、謝礼はありません。
【申込期限】 **12 月 10 日㈪** 必着
【応募資格】
町内に在住、在勤または在学されている満 18 歳以上の方
※３機関以上の町の審議会・委員会などの委員の方は応募できません。
【応募方法】
専用の申込書に必要事項を記入し、下記申込先まで提出
※申込書は下記申込先でお渡しするほか、町ホームページからもダウンロードできます。
※申込書の提出は、郵送、FAX、E メールいずれかでお願いします。
※申込書は返却しません。
【決定方法】 申込書による書類選考および面談
【申込先・問い合わせ】
町教育委員会学校教育グループ
☎ 72-1117　FAX72-6522
E メール gakkoukyouiku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

くりやまサポーターのまち楽しみまクリ その2

今回から、くりやまサポーターは最大の使命「栗山の魅力を探る」ため、まちを巡ります。馴染みの人や場所も、サポーターとして取材するのは緊張しますが、栗山を盛り上げていくため、体当たりで挑みます！　とはいえ、超カチコチの私たちを温かく迎えてくださった地域の皆さんでした。やっぱり栗山好きだなぁ。

平成 30 年 10 月某日。
栗山酒造の敷地内にある「蔵元生家 小林家」にうかがいました。

くりやまサポーターの
「映画大好き」ゆうかと
「写真撮影が趣味」のかおりが
レポートします！

ここ「小林家」は、３代目小林米三郎さんの長女・小林千栄子さんが、酒を造ってきた男たちの裏で家を守ってきた女たちの暮らしを伝えたいという思いで、平成 26 年に一般公開した蔵元の生家です。

この日、「守り人」のお一人でもある千栄子さんが案内してくださいました。

この家の冬は外よりも寒くなります。

５年前まで実際に暮らしていた築１２１年の生家。小林家が商家として生き抜いた歴史を物語ります。暮らし向きが良い時であっても天にも地にもなるという蔵元の暮らし。二代目米三郎の妻チノさんは千枚もの古布の端切れを保管し着物のあて布にするなどして、家を守ってきました。

女性の支えがあったからこそ今の小林家があることを実感しました。

無駄ばかりの私の生活を見直さなくては…と反省。チノさんはかっこいいです。

とっくりをひっくり返したらしゃもじになる！

一見華やかな暮らしが想像されますが、裏では女性たちが工夫を重ねて厳しい暮らしを耐えてきたことがわかりました。先人が苦労した分、私たちは幸せに暮らさなければならない、という千栄子さんの言葉が印象的でした。